

日 時：2024 年 5 月 13 日（月）

訪問先：Uber Japan 株式会社（東京都港区）

参加者：廣瀬集一、神山玄太、藤原伸一郎、清水一成

○ Uber の取組について

2024 年 5 月 13 日（月）、Uber Japan 株式会社本社会議室にて

・視察の概要

Uber Japan 株式会社本社にて、政府渉外・公共政策シニア・マネージャー岩波隆一郎氏と意見交換を行った。

・視察内容・考察

本市において、Uber Japan 株式会社は Uber eats 事業を展開している。日本においては、いわゆるシェアタクシー事業としての Uber は規制の関係で展開できていないが、都市によっては配車事業としての Uber 事業を行っている。コロナ禍以降、本市においても運転手不足によるタクシー配車の減少も目立ち、また地方都市においては日本版ライドシェア・公共ライドシェア事業を始めているところもあり、本市における住民の移動の確保の選択肢を探るため、意見交換を行った。

山梨県ではインバウンドによる外国人観光客も増え始め、本市においては配車事業として Uber は事業を行っていないが、多くのユーザーが配車のために Uber アプリを起動させているという現状説明があり、公共交通配車インフラとして Uber が根付いていることがわかった。本市においては、既存の交通事業者との連携を取る中で、住民の移動の権利をどう確保していくべきか、という視点で、Uber のような新たな技術も取り入れていくべきである。

